

チャリティコンサート終演後、ほぼ全てのお客様が私達に温かい言葉をかけてくださり、固い握手を交わしました。お客様は皆さん素晴らしいものを聞かせてくれてありがとう！と言ってくださいましたが、私からもこんなにも熱心に温かく聞いてくださりありがとうございましたとお礼を言いたくなる演奏会でした。本当に皆が親戚なんじゃないの？って思えるくらいあったかかったです。発起人の松崎さんご夫妻のお人柄が素晴らしいからこそのことだとは思いますが、心に残る三日間でした。来年も是非！

山下尚子(S)

『演奏会後の被災地の皆様の笑顔が忘れられません。喜んでいただけて本当に良かった。音楽は喜びに、そして明日の力になりますように！そんな願いを込めてまた音楽を届けに行きたいです。最後になりましたが、音プラのお客様と関係者の皆様のお力に感謝申し上げます。』

柚友恵子(Ms)

今回、東北チャリティーコンサートに参加させて頂き、地震・津波の被害の大きさを改めて感じたと共に、生死の境界をさ迷い、生き残った方々が笑顔で元気に他人(ひと)の事を考えながら生きている事の素晴らしさを感じた。

また、機会あれば、皆さんに再会したいと思った。

角田和弘(T)

現地の聴衆の皆様には大きな拍手で迎えていただき、逆にこちらが元気パワーをいただきました。

改めて被災地の被害の大きさと、進まぬ復興の現実を見て、心に重いものを感じましたが  
ご覧くださった皆様の熱い反応には、感動を覚えました。

江原 実(Br)

今回一番心に残ったことは、お客様、発起人の方々、支配人はじめお手伝いくださり同行して下さった方々、そして演奏者、すべて全員が心一つになった素晴らしい三日間だったなあ、ということです。とうとう、現地に音プラが行かせていただく事ができました！

現地では改めて自然の猛威を感じました。きっといつまでも癒えることのない痛みを抱えながらも、明日に向かって生きていच्छる方々と、音楽という目に見えない形ですが、喜びを共有させていただけた事が本当に嬉しかったです。少しでもお力になれば・・・と今後も大切に音楽を届けてまいりたいと思います。

2012年より支援を継続してきて下さった音プラのお客様と関係者の方々に、心から感謝をいたします。ありがとうございました

斎藤美香(P)

これまで音プラでのチャリティコンサートを重ねてきて、演奏者、お客様、スタッフ含めて皆が東北の皆さんのことを想いながらも肝心のその演奏が皆さんに聴いて貰えない歯がゆさを感じていました。そんな時にご縁あって「是非皆さんの演奏を現地で聴かせてほしい」と松崎さんに声をかけていただき、つたないながらも実現のお手伝いできたことをとても嬉しく思います。

音プラズリステンに加えてお店も積極的に関わって下さり、ライオンやサッポロホールディングスまで協力して下さったこと、また現地でも沢山の方々が尽力して下さったこともとてもありがたかったです。東京ではなかなか震災や復興が話題にのぼる事が少なくなっていますが、快く協力して下さった皆さんだけでなく、協力をお願いした方々の心のうちにも、消えない思いがあると知ることができたのも、心の支えとなりました。

コンサート後にお話を伺えた方の中には「被災後何度もコンサートに来たけれどその度に涙が止まらなかった。でも今日は初めて泣かずに聴けたんです」と言って下さった方があり、こういった活動はまだまだ続けてゆくべきとの思いを新たにしました。

菊地美奈(S)